初公開！
Power stone

呪術師の歯をかたどったヒスイ玉

骨・角・牙で作られた装飾品

貝輪作りの関連遺物

大量に作られた矢尻

骨で作られた道具

縄文クイズに答えて
縄文キャラクター
グッズを作ろう！

12/16㈯～1/28㊐の開館日
午前10時～午後4時
場所●田原市博物館内
参加無料（要観覧料）

ここまで わかった！

田原市博物館企画展

保美貝塚（ほびかいづか）

渥美半島の縄文時代晩期の大貝塚

平成29年
12月16日(土)→
平成30年
1月28日(日)

開館時間｜午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日｜毎週月曜日
※ただし、月曜が祝日の場合は火曜休館、12/28㊍～1/4㊍休館
入 場 料｜大人400円(320円)、小・中学生以下無料
（ ）内は20人以上の団体料金。
吉胡貝塚資料館との共通券500円もあります。

主催｜田原市教育委員会、田原市博物館

関連事業
縄文セミナー　1月14日㊐　午後1時30分～
「保美貝塚の人たちとくらし」
講師：中部大学　長田友也氏　会場：畔山会館　受講無料

展示解説
12月16日㈯・1月6日㈯
いずれも午後1時～　当館学芸員　参加無料（要観覧料）

【主な展示資料】
- 縄文土器・石器・土偶・骨角器、貝輪および貝輪製作関係資料、動物遺体、埋葬人骨、埋葬犬、調査記録・調査写真・保美貝塚関連文献（田原市蔵）
- ヒスイ製玉（個人蔵）、縄文土器（五貫森式土器一括）・骨角器ほか（個人蔵）

【凱旋展示】
- 明治36年調査資料・骨角器・土偶ほか
- 昭和16年・40年調査資料・縄文土器・調査記録ほか（東京大学総合研究博物館蔵）

田原市博物館
☎22-1720　HP http://www.taharamuseum.gr.jp

田原市が誇る縄文時代の遺跡―保美貝塚

保美貝塚は、国史跡吉胡貝塚、県史跡伊川津貝塚とともに縄文時代後・晩期の貝塚で、「渥美の三大貝塚」として知られています。また古くから多くの人類学者、考古学者の調査が行われ、出土した遺物・縄文人骨は、黎明期の日本の考古学・人類学の発展に大きく貢献したことで有名な遺跡です。

近年の調査で、東海地方初めての環状木柱列の発見、国立歴史民俗博物館研究チームの調査による盤状集骨葬例の発見とその研究など、めざましい新発見があり注目されています。また、本市の調査と、過去の調査資料の整理によって吉胡・伊川津貝塚とともに、東海地方はもとより日本の縄文文化の地域間交流を示すばかりでなく、縄文時代の社会、日本の歴史を考える上でも大切な遺跡であることが再確認できました。

この展覧会は、90年ぶりに里帰りする遺物をはじめ、最新の出土品による成果を通じ、保美貝塚の調査の成果を広く市民の皆さんを始め多くの人たちに知っていただくため企画したものです。

今回の保美貝塚の展覧会や関連行事を通じ、ふるさとの歴史の深さや素晴らしさを知っていただき、明日のまちづくりを考えるきっかけになればと思います。